



住み慣れた地域で
安心して暮らしていけるように

認知症 コラム

【第2弾】
認知症伴走型支援事業
「サポートうえもり」

こんにちは、認知症地域支援推進員です。今回は、令和6年度から与謝野町の委託事業として始まった認知症伴走型支援事業「サポートうえもり」について紹介します。

認知症伴走型 支援事業ってなに？

認知症の方やそのご家族と一緒に考えながら不安な気持ちを支えるとともに、認知症への理解と受け止めがしていけるように適切な情報や知識の提供を行

うことがこの事業の主な内容です。また、相談者が提供した知識や情報を自分で選択できるように、助言や支援も行います。

サポートうえもりの 具体的な内容は？

与謝野町地域包括支援センターに加え、地域にある認知症対応型のグループホームふれあい内に認知症に特化した相談窓

口を設置。相談は、普段から認知症介護にかかわっている専門の相談員（認知症介護指導者が主担当）が対応します。役場庁庁日（土曜日）でも相談していただける体制となっています。ただ、これまでの相談内容を見ると、「家族が認知症と言われたが、どう接したらよいか教え

てほしい」「介護をしてほしい」「どい、話を聞いてほしい」「どんな介護サービスがあるの？」などさまざまです。ご家族だけでなく、ほかの認知症の方を支える介護サービス事業所の職員やケアマネジャー、地域を支える民生児童委員など、地域福祉の従事者の方々からのちょっとした困りごとにも対応していますので、気軽にもご相談ください。

サポートうえもり
認知症なんでも相談
始まりました!

安心ポイント

- 休日（土曜日）も相談できる
- 無料で相談できる
- 認知症ケアの悩み相談できる
- 地域福祉の従事者も相談できる

相談窓口・問い合わせ先（毎週水・土（週2日）9:30～15:30）
090-4274-8096 0772-44-1010

サポートうえもりのご案内

【窓口の開設日時】
週2日（水曜日、土曜日）
午前9時30分～午後3時30分

【連絡先】
〒629-2411 与謝野町字明石 652 番地 1
福祉のうえもり グループホームふれあい内
（主担当：桑原さわ江）
☎ 090-4274-8096（専用番号）
☎ 44-1010（ふれあいの電話番号）

- 相談に際し、費用負担はありません。
- 認知症介護指導者のほかに、認知症介護実践リーダー研修修了者や介護支援専門員、認知症キャラバン・メイトなどの資格を有した経験者が対応します。

日

本に来て4年半、初めてお祭りに直接参加するという経験をしました。下山田のお祭りは、地域の伝統芸能である「太刀振り」を神様への祭礼として奉納したり、町中を練り歩きながら隣組や家でも行うことで知られています。これは「道振り」と「宮振り」に分かれており、道中での道振り、神社境内などでの宮振りとそれぞれ別の場面で行われます。この経験を通じて、日本の多くのお祭りが伝統的な儀礼や儀式の性格を帯びていることを改めて実感しました。

お祭りの練習中、町の方々から「韓国のお祭りはどうですか?」「韓国にも太刀振りのような祭礼はありますか?」と尋ねられました。残念ながら、私はすぐには答えられませんでした。むしろ、「そういうえば、韓国のお祭りってどんな感じだったかな?」と自問自答することになりました。私の記憶の中の韓国のお祭りは、大勢の人が集まって伝統公演を観覧しながら楽しく過ごす姿がほとんどで、



与謝野駅で道振りを終えたわたし

神様に祭祀を捧げるような儀式は、はつきりと思いつかびませんでした。

「なぜ韓国には、このような祭礼中心のお祭りが少ないのだろうか?」という疑問が湧きました。調べてみると韓国の歴史にも、かつては日本のように多様な儀式や祭礼があったそうです。しかし、時代が流れるにつれて宗教色の強かった王朝が衰退し、約630年前の1392年に朝鮮王朝が成立。朝鮮王朝は、宗教よりも倫理道徳に基づいた儒教を統治理念や社会規範の核心とし、その過程で神に捧げる宗教的な儀式はしだいに縮小していったそうです。このことから、韓国のお祭りは、町の

人々が集まって共に楽しみ、交流する形へと発展していったようです。

振りが行われたそうです。そして今、まるで100年前の歓声が再び響き渡るかのようになり、一世紀という長い歳月を越えて固く伝統を守り続けてきた町の人々の熱い絆と、故郷への深い愛情をひしひしと感じることができました。

今回の下山田の太刀振りを見て、本当に感動しました。また、日本各地に散らばって暮らしていた若者たちが、このお祭りのために故郷へ戻り、当日の祭りに参加する姿には強い郷土愛を感じました。幅広い年代の地域の青年たちや子どもたちが、伝統を守るために長い時間一緒に汗を流して練習し準備する姿は強く心に残り、こうした過程を通じて培われた彼らの強い結束力と共同体意識は、疑いようもなく強固に見えました。

私もまた、今回のお祭りに太刀振りの練習から参加させていただき、当日は道振りの行列に加わり、太鼓が乗った屋台などを一緒に曳くなど、ささやかながら協力をさせていただきました。短い参加ではありましたが、お祭りの熱気を肌で感じ、来年は道振りだけでなく、宮振りまで含めて本格的に参加したいという思いも生まれました。

100周年を記念して例年にならぬ特別披露も行われたため、さらに胸が熱くなりました。100年前にも駅の開業を祝って、まさにこの駅前で太刀

山田地域と与謝野駅周辺の活性化に向け、与謝野町のPR活動をしています。与謝野町や丹後地域で活動の様子をYoutubeに公開しているので、ご覧いただけると励みになります。動画には私も映っているので、まちで見かけたら、気軽に声をかけてください!

Youtube